

令和3年度愛別町歳入歳出予算総括表

(単位：千円・%)

会計名	本年度予算	前年度予算	比較	増減率		
一般会計	3,190,000	3,459,000	△ 269,000	△ 7.8		
特別会計	国民健康保険	408,394	412,093	△ 3,699	△ 0.9	
	国民健康保険診療所事業	113,773	137,759	△ 23,986	△ 17.4	
	後期高齢者医療	58,626	53,869	4,757	8.8	
	介護保険事業	539,394	553,243	△ 13,849	△ 2.5	
	公共下水道事業	175,113	194,228	△ 19,115	△ 9.8	
	小計	1,295,300	1,351,192	△ 55,892	△ 4.1	
	企業会計	簡易水道事業(収益的収支)	148,500	151,473	△ 2,973	△ 2.0
	簡易水道事業(資本的収支)	195,650	269,384	△ 73,734	△ 27.4	
	小計	344,150	420,857	△ 76,707	△ 18.2	
	合計	4,829,450	5,231,049	△ 401,599	△ 7.7	

■ 予算編成方針

我が国の経済状況は、新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況であり、「経済財政運営と改革の基本方針2020」においても、正に国難と言うべき局面に直面し、内需主導で成長軌道に戻していくことができるよう、感染症拡大防止と社会経済活動の両立を図っていくとしています。その中で多核連携型の国づくりを行い、国と地方が連携し公共サービスの広域化・共同化を進め、将来の人口構造の変化に対応した持続可能な地方行財政制度を構築するとしています。

愛別町の令和元年度決算においては、実質収支では107,416千円の黒字であり、また、財政健全化法に基づく財政指標についても、いずれも国が定めた早期健全化基準の範囲内にあります。一方経常収支比率については、高い水準で推移しており、財政構造の硬直化が一層進んでいます。今後においても人口減少や新型コロナウイルス感染症の影響によりさらに厳しさが増すことが予想されます。

令和3年度当初予算については、「第11次愛別町振興計画」の2年目を迎え、これまでの振興計画の成果を継承しながら、新たな視点で事務事業評価を実践し、住民生活の充実に寄与できるよう、諸般の行財政の現状を十分に認識しながら、健全で持続可能な財政運営と振興計画の基本テーマである「子どもの笑顔かがやく恵みの大地 あいべつ」の実現という基本方針の下、予算編成を行いました。

